

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 4月 18日

所属・職名	人間社会学部・教授	氏名	鎌田光宣
研究課題	VTuber (Virtual YouTuber) による地域情報の発信と地域の活性化		
研究キーワード	動画配信, 地域活性化, 情報メディア	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>VTuber の技術的な仕組みと、VTuber が収入を得る仕組みについてまとめた。しかしながら、地域情報の発信については、想定していた以上に技術的側面と芸術的側面の障壁が高く、年度内の実現に至らなかった。動画配信の環境は整えたため、2020年度以降も研究を継続したい。</p> <p>また、日本における e スポーツの現状を把握するため、インターネットを用いたアンケート調査を行った。論文では、テレビゲーム大国のひとつである日本において e スポーツが普及していない理由と、今後あるべき方向性について述べた。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等 (海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)</p> <p>【論文】 鎌田光宣, 岩永直樹, “日本人の e スポーツに対する意識調査”, 千葉商大紀要, 第 57 巻第 3 号, pp.233-242 (2020)</p> <p>【発表】 鎌田光宣, “VTuber (Virtual YouTuber)を支える技術とコンテンツビジネスの新たな可能性”, 第 6 回 国際 ICT 利用研究学会 研究会, 2019 年 10 月 6 日</p> <p>3. 主な経費</p> <p>VTuber として情報発信を行うためのモーションキャプチャーシステム及びボイストランスレーターを購入した。また、VTuber や動画配信等に関する文献およびソフトウェアを購入した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)</p> <p>特になし</p> <p style="text-align: right;">(本文は <u>1ページ以内</u>にまとめること)</p>			